

報道関係各位

株式会社 U B I C
代表取締役社長 守本正宏
東京都港区港南 2-12-23
(コード番号：2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル：UBIC)

「アジア情報アクセスサマースクール2013」にて Predictive Coding技術の研究成果を発表

株式会社 UBIC（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 UBIC）は、2013年6月22日から3日間にわたり筑波大学で開催された「アジア情報アクセスサマースクール 2013 (Asian Summer School in Information Access 2013)」に参加し、当社の Predictive Coding 技術について発表いたしました。

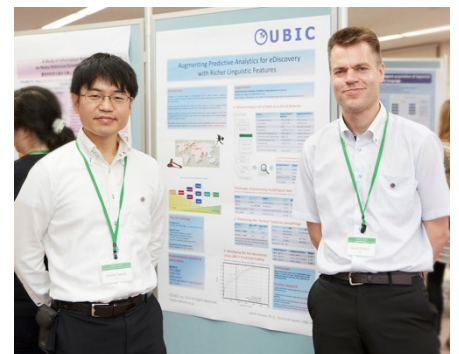
同サマースクールでは、アジア圏の大学や研究機関等に在籍する大学院生や若手研究者を対象に、情報アクセス分野の第一線で活躍する研究者・実務者による講義や、同分野の最新動向に関するプレゼンテーションが行われました。

近年重要性が増しているテーマとして eディスカバリやクラウドソーシングなどのトピックスが注目され、弊社はポスタープレゼンテーション（英語）において「eディスカバリにおける、言語表現の特徴を用いた予測分析の増加 (Augmenting Predictive Analytics for eDiscovery with Richer Linguistic Features)」について発表いたしました。

当社は、世界で初めて日本語、韓国語の Predictive Coding 技術の独自開発に成功し、eディスカバリの実案件に用いるなど、同分野における研究開発から実用化への先進的な取り組みを重ねております。今回の発表では、参加者の皆様と情報検索やテキストマイニング、機械学習について意見交換をする貴重な場となりました。

なお、当社は2013年2月に R&D センターを開設しており、情報科学（データマイニング/音声認識技術/翻訳技術など）に人間の行動を洞察・分析する行動科学（認知心理学/犯罪学/社会学など）を取り入れることで、eディスカバリ支援システムにおける独自の技術研究・開発に取り組んでおります。

今後も国内外の学術・研究機関においてその成果を発表するなど、技術情報の発信に力を入れ、同研究分野の発展に貢献してまいります。



【UBICについて】

代表取締役社長：守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23

URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、国際的カルテル調査や連邦海外腐敗行為防止法 (FCPA) に関連する調査、知財訴訟、PL 訴訟などで要求される電子データの証拠保全及び調査・分析を行う eディスカバリ事業 (電子証拠開示支援事業) のほか、電子データ中心の調査を行なうコンピュータフォレンジック調査サービスを提供する、リーガルテクノロジー総合企業。アジア言語対応能力では世界最高水準の技術と、アジア圏最大の処理能力を有するラボを保有。2007年12月米



国子会社を設立。アジア・米国双方からアジア企業関連の訴訟支援を実施。2009 年末には企業内でも国際訴訟における電子証拠開示が可能な電子証拠開示支援システム「Lit i View」（リット・アイ・ビュー）を自社開発し、2011 年 10 月からはクラウドサービスとして「UBIC リーガルクラウドサービス」の提供を開始。また、2012 年 3 月に、アジア言語に対応した Predictive Coding（プレディクティブ・コーディング）技術を世界で初めて独自開発し、実用化に成功。

2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 1,095,358,941 円（2013 年 06 月 30 日現在）。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 UBIC マーケティング部 TEL: 03-5463-6344 FAX: 03-5463-6345